



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司  
(コード番号：8705)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士  
電 話 03-5543-8705

### 平成 29 年 3 月期第 3 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

|  | 営業収益  | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に<br>帰属する<br>四半期純利益 |
|--|-------|------|------|--------------------------|
| 前年同期実績<br>(平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (A)  | 2,318 | △674 | △569 | 238                      |
| 当期実績見込み<br>(平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (B) | 1,887 | △781 | △719 | △762                     |
| 増 減 額 (B - A)                            | △431  | △107 | △150 | △1,000                   |
| 増 減 率 (%)                                | △18.6 | —    | —    | —                        |
| (ご参考) 平成 28 年 3 月期実績                     | 3,280 | △693 | △586 | 330                      |

#### 2. 差異が生じた理由

当第 3 四半期連結累計期間における我が国経済は、公共投資が底堅く推移し、輸出の持ち直しから生産が回復、円安進行もあって企業収益の先行き見通しが改善しました。雇用環境の改善から個人消費にも底堅さが見られるなど、全体として緩やかな回復基調をたどりました。

商品市況は、貴金属が米国の利上げ観測によるドル高から国際価格は大幅安となった一方、石油は OPEC を中心とした産油国の減産合意で上昇しました。穀物は米国の収穫終了から横ばい推移となりました。これらの背景から、全国市場売買高は 39,416 千枚（前年同期比 104.3%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、主力である貴金属市場の受取手数料が落ち込んだこともあり、1,611 百万円（前年同期比 84.5%）となりました。また、売買損益につきましても 37 百万円の利益（前年同期比 86.1%）にとどまりました。

この結果、営業収益は 1,887 百万円（前年同期比 81.4%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、2,668 百万円（前年同期比 89.2%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は 781 百万円となり、経常損失は 719 百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は 762 百万円をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上